

同じ人として
向き合えるように

「貧しい子どもたちに文房具を届けたい」。1998年、東京都大田区立田園調布中学の2年生だった野村明香(26)さんは、開発途上国に物資を送るNGOのスタディーツアーで、ネパールのある集落を訪ねた。文房具を配り始めた彼女に、子どもたちが笑顔で駆け寄る。だが、その人数は予想以上に多く、すぐに激しい争奪戦が始まった。乱暴に文房具を奪おうとするたぐさんの手。怒鳴り声や悲鳴とともにあちこちでけんかが起き、辺りは騒然となった。「私がやっているのは、観光客のた



だの自己満足だ……。ぼうぜんとしながら、野村さんはそう思った。初めての海外で、自分の考えの甘さに気付いた。帰国後、この悔しさを忘れまいと体験をエッセイにし、「JICA中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト」に応募した。「援助するには、相手への理解・思いやりが必要」「哀れ

むのでなく、いつか彼らと同じ人として向き合えるようになりたい」。そう力強く結んだエッセイは、この年の準特選に選ばれた。小学生のとき、青年海外協力隊の経験者から話を聞いて以来、協力隊にあこがれてきた野村さん。それだけに、エッセイコンテストの副賞である中国へ

エッセイに込めた
決意とともに

「いつか海外でボランティアをしたい」。そんな思いを文章にし、約10年前の国際協力エッセイコンテストで入賞した2人の中学生が、今年、青年海外協力隊として派遣されることになった。エッセイに込められた決意とともに、今、大きく羽ばたこうとしている。

女性への暴力が残るバングラデシュで、顔に硫酸をかけられた被害女性が共同生活を送る施設を訪ねた野村さん(後列左から3人目)。「手を取り合い、強く生きる彼女たちから多くのことを教えられた」



国では、日本語や花卉栽培の指導に当たる隊員から活動のやりがいなどを聞き、大きな刺激を受けた。「何か役に立つ技術を身に付け、自分も協力隊になる」。そう心に誓った。

は、得意のスペイン語とIT技術を生かし、パソコンのインストラクターとして教育センターの教員を指導する。「コミュニケーションを取りながら、先生たちの要望に合わせた指導をしていきたい」と派遣の日を心待ちにしている。また堤さんは、セネガルで子どもたちの感受性や表現力を伸ばす幼児教育の普及に取り組む。「これまでの経験を生かし、子どもたちが楽しんで学べる教育方法を現地に根付かせたい」と話す。



1998年度の国際協力エッセイコンテストで準特選に輝き、賞状を受け取る野村さんと堤さん(右)



研修旅行先の中国では地元の中学生たちとも交流した

中国で誓った
青年海外協力隊の夢

98年のもう一人の準特選受賞者で、熊本市立西山中学1年生だった堤雄一郎さん(24)は、父親に連れられ、タンカーの事故で流出した重油の回収ボランティアに参加した経験をエッセイにした。「自分でも誰かの役に立てる」ことに気付いた喜びと、「将来は国際的なボランティアとして活動してみたい」との思いをつづった作品は、後日、岡山県の中学生が使う道徳の教科書に載り、広く共感を呼んだ。野村さんらとともに訪れた中

国では、日本語や花卉栽培の指導に当たる隊員から活動のやりがいなどを聞き、大きな刺激を受けた。「何か役に立つ技術を身に付け、自分も協力隊になる」。そう心に誓った。高校・大学時代には、(財)日本YMCAを通じ、募金活動などの国内ボランティアを行った。特に青少年活動に熱中し、キャンプやイベント、レクリエーションのリーダーとして活躍。海外にも活動の場を広げ、タイの少数民族の集落でホームステイをしながら幼稚園を建設したり、スマトラ沖大地震で被害を受けたインドネシアの村で子どもたちと交流したりしてきた。大学卒業後は広島YMCAに就職。専門学校の事務をする傍ら、青少年活動や国際協力募金活動などに力を注いだ。

エッセイコンテストをきっかけに知り合い、志を同じくする者として互いに近況を報告し、励まし合ってきた野村さんと堤さん。2008年秋に2人はそろって協力隊に応募。09年2月、見事に合格し、喜びを分かち合った。今後、訓練を経てそれぞれの任地に旅立つ予定の2人。ベネズエラに派遣される野村さん



地震と津波で破壊されたインドネシアの村の子どもたちと触れ合う堤さん。レクリエーションで、つらい経験をした彼らの心を解きほぐす

JICA国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2009 応募受付中!

JICAは、開発途上国の現状や地球規模の課題への理解を深め、自分たち一人一人に何が出来るかを考えてもらうことを目的に、中学生・高校生を対象とした国際協力エッセイコンテストを実施している。上位入賞者には、開発途上国で国際協力の現場を視察したり、現地での生活が体験できる研修旅行が贈られる。応募要領などの詳細は、JICA地球ひろばホームページ(<http://www.jica.go.jp/hiroba/join/sanka/essay/>)を参照。
締切 9月10日(木)当日消印有効
結果発表 2009年12月
問 「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2009」係
(TEL:03-3406-5274)